

令和5年度
「航空地上支援業務普及啓発事業」
報告書

令和6年1月19日

「航空地上支援業務普及啓発事業委託業務」
受託コンソーシアム

◆INDEX

- 1 本事業の目的と背景について
- 2 本事業の内容について
 - ① 事業内容
 - ② イベント概要
 - ③ 実施結果
 - ④ まとめ
- 3 モデルの提示
- 4 報告会
- 5 総評

1 本事業の目的と背景について

1 本事業の目的と背景について

【目的】

- 地域の空港を支える人材を将来にわたり安定して確保するため、小学生から高校生までの若年層(以下、「若年層」という。)をターゲットに、空港を支える業務を体験できる航空教室などを開催し、その取組の結果を踏まえた分析を行うことにより、当該業務に関する認知度の向上や職業観の早期形成のためのモデルを構築。
 - ※空港を支える業務:グランドハンドリング業務、保安業務など
 - ※空港を支える業務の職業観は、高校生以前の早い時期に形成。
小学生から高校生までの若年層をターゲットとした普及啓発事業の実施が有効。

【参考】航空連合「航空連合の取り組みと課題認識～空港で働く魅力の向上にむけて」

「航空関連産業を志したのはいつごろ？」

航空連合が組合員を対象に実施したアンケートによると、高校生までに志したとの回答が約3分の2を占めた。

【背景】

◆ 空港を支える人材を取り巻く状況

- コロナ禍の影響による離職者増、新規採用減
 - ・全国的にグランドハンドリング業務の従業員数は、一時、コロナ前から1～2割減少。
 - ・保安検査員については、コロナ前から約2割減少。
【出典】国土交通省「空港業務における現状と取組状況」(令和5年10月5日)
- ・一方で、航空需要の回復、国際線の復便が進んでいる為、空港受入体制を早急に整備する必要がある。

◆ 国、北海道エアポート(HAP)などのこれまでの取組紹介

- 国の取組:「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」
(内容)航空機の運航に不可欠な空港業務の持続的な発展に向け、人材確保やDX化・GX化などについて地域の関係者一丸となった取組を推進。
- 関係者間の連携した取組:「新千歳空港地上支援業務対策WG」
(内容)関係機関により構成するWGを設置(事務局:HAP)し、関係者の取組内容の共有・意見交換、就職セミナー、ウェブによる採用情報の発信などを行っている。

2 本事業の内容について

① 事業内容

■ 事業内容

- 新千歳空港で開催される「空の日イベント」において、滑走路ランウェイウォークやお仕事体験などの実施を通じて当該モデルを構築。
「航空地上支援業務普及啓発事業委託業務」受託コンソーシアムが実施。

〈コンソーシアムの構成〉

代表者：北海道エアポート(株)

構成員：(株)AIRDO
ANA新千歳空港(株)
(株)えんれいしや
(株)JALスカイ札幌
スカイマーク(株)
学校法人日本航空学園日本航空大学校北海道



② イベント概要

■ イベントの概要

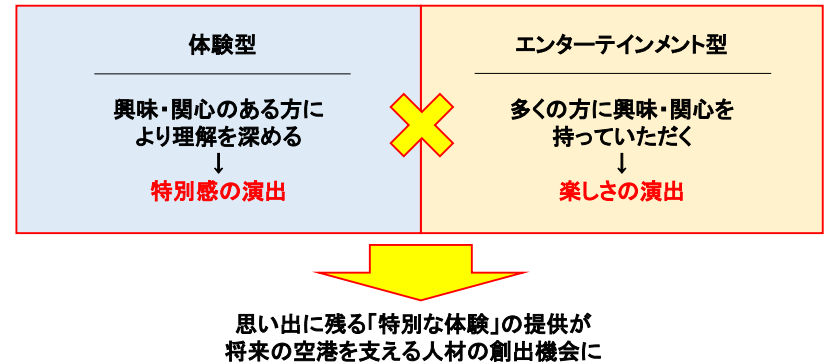
【実施日】 2023年9月2日(土)・3日(日) 計2日間

【実施場所】 新千歳空港(制限区域内、国内線旅客ターミナルビル内
(センタープラザ他)、国際線旅客ターミナルビル2階 ポルトムホール)

【実施内容】 国土交通省が主管となり実施する「空の日」のイベントにあわせ、若年層をメインターゲットとした空港を支える業務普及のためのイベントを企画実施。

■ 企画テーマ:「思い出に残る特別な体験」

・未来の航空業界を担う若年層に対して、業務の理解を深める普段出来ない「特別な体験」や、空港を利用される方に「空港を支える業務を広く知る機会とした「楽しさ」を提供することで、多くの方が航空業界に興味・関心を持ち、理解を深めることで**将来の空港を支える人材の創出機会**に繋げる。



■ 企画概要

企画テーマ	項番	企画	運営
体験型	①	滑走路ランウェイウォーク&飛行機記念写真撮影	HAP・AIRDO
	②	航空教室	スカイマーク
	③	折り紙ヒコーキ教室	JAL
	④	お仕事体験 (フライトシミュレータ、マーシャリング体験等)	日本航空大学校
エンターテインメント型	⑤	お仕事ウォークラリー	ANA
	⑥	展示イベント	日本航空大学校 他
	⑦	記念撮影会	AIRDO
	⑧	その他 グッズ販売、ステージイベント等	えんれいしゃ 他

■評価

企画毎にアンケートを実施。以下の項目を評価・点数化

評価項目	評価基準
関心度	5段階評価による アンケート結果の平均値 (設問:関心が深まったか)
認識度	5段階評価による アンケート結果の平均値 (設問:認識が深まったか)
満足度	5段階評価による アンケート結果の平均値 (設問:イベントに満足したか)

イベントアンケート

年祝い: _____ 才 _____ 性別: 男性・女性・回答しない
お住まい: 千歳市・苫小牧市・札幌市・恵庭市・北広島市・その他(_____)

Q1.今日のイベントを何で知りましたか。
空の日 HP・新千歳空港 HP・新千歳空港 SNS(X(旧 Twitter)・Facebook)・千歳市 SNS(LINE・X(旧 Twitter))・家族/知り合いから・その他(_____)

Q2.イベントは楽しかったですか。
楽しかった 1 . 2 . どちらでもない 3 . 4 . 楽しなかった 5
 ※楽しかった(4か5)を選んだ方は、中でも何が楽しかったですか。(_____)

Q3.空港や空運の仕事について知ることができましたか。
知ることができた 1 . 2 . どちらでもない 3 . 4 . 知ることができなかった 5

Q4. 空港で働くことへの興味関心をもちましたか。
興味関心をもちました 1 . 2 . どちらでもない 3 . 4 . 興味関心をもちませんでした 5
 ※ 興味関心をもちた(4か5)を選んだ方は、中でもどのような仕事に興味がありますか。
 滑走路や駐機場で働く仕事(整備士・グラウンドハンドリングなど)
 空港の中でお客様と接する仕事(グラウンドスタッフ・インフォメーションなど)
 空港の安全を守る仕事(保安検査・消防など)
 飛行機の中で働く仕事(パイロット・CA など)
 その他(_____)

Q5.今日この他に空の日のイベントに行きますか。(複数回答可)
 SKYMARK 空港見学・JAL 折り紙ビコーキ教室・ANA ワークラワーグッズ販売
 ペアトゥ記念撮影会・日本航空大学校職業体験・パネル展示・その他(_____)

Q6.今日のイベントの感想やご要望などご自由に記入ください。

③ 実施結果

■分析

- ①企画毎のアンケートをクロス分析。下表の項目で数値化を実施。
小学生、中学生、高校生別の傾向を測る。
- ②アンケート内容や評価、分析数値を踏まえ、改善点を示す。

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グラウンド ハンドリング	空港内	保安	機内
小学生								
中学生								
高校生								

■ 体験型イベント:①滑走路ランウェイウォーク&AIRDO飛行機記念撮影

【概要】

- 滑走路や飛行機の離発着に係る仕事の説明、空港の働くクルマ(除雪車・消防車)の見学を実施。
- 参加者を楽しませるため、AIRDOの航空機やマスコットキャラクターが登場し、記念撮影を行ったほか、ノベルティを配付。



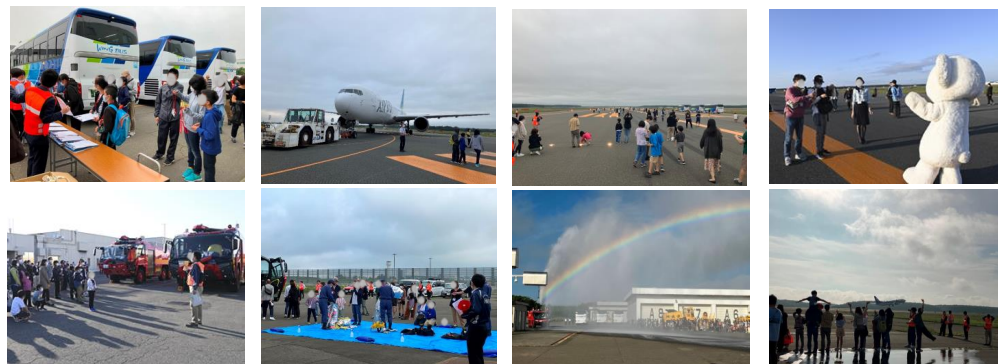
【実施内容】

実施日時:9月3日 5:45~8:00(約2時間)
 実施回数:1回
 参加条件:小学生・中学生(保護者含む)
 参加想定人数:上限120名(事前募集)
 参加申込数:109組311名
 当日参加者数:31組82名
 実施場所:制限区域(滑走路・消防庁舎)

【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グランドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	39	4.5	4.5	4.9	33	9	33	12
中学生	10	4.6	4.4	5	20	40	20	20
高校生								

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・応募者数の上限120名に対し、311名の応募がある人気のイベント。
- ・滑走路見学だけでなく、滑走路管理の仕事の説明し、理解を得る機会を創出。
- ・イベントに参加し保安業務などに興味をもったという声も多く、消防車などの見学・説明の効果があつた。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑走路での灯火説明の際、参加者がバス下車後すぐに走り出し、説明を聞いてもらえなかった。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容によっては、高校生をターゲットとできるものであつたが参加対象としていなかった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑走路に降りると参加者の気分が高揚し、業務説明を聞いてもらえないため、説明のタイミングなど誘導手順を整える工夫が必要。 ・単に滑走路の見学のみならず、多様な現場ならではの業務に関する説明を行う。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体を通じ学校への告知で、関心度の高いコア層以外の参加を促す。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制や実施場所を踏まえ、高校生に向けたメニューを構築。

Point!



- ・滑走路へのバスは航空会社との連携で費用が低減。
- ・場内管理で多くの人員が必要。

■ 体験型イベント:②航空教室

【概要】

- グランドハンドリング業務などの仕事を中心に、航空機の発着に関する業務や実際に航空機に使われている部品、器具の説明を行う航空教室を開催。
- 空港の働くクルマへの乗車体験や、コンテナへのお絵かき、お見送り体験などを実施。

【実施内容】

実施日時:9月3日 13:00~16:00(約3時間)
 実施回数:1回
 参加条件:小学生・中学生(保護者含む)
 参加想定人数:10組(上限40名)(事前募集)
 参加申込数:91組
 当日参加者数:10組20名
 実施場所:制限区域(整備機材庫B棟など)

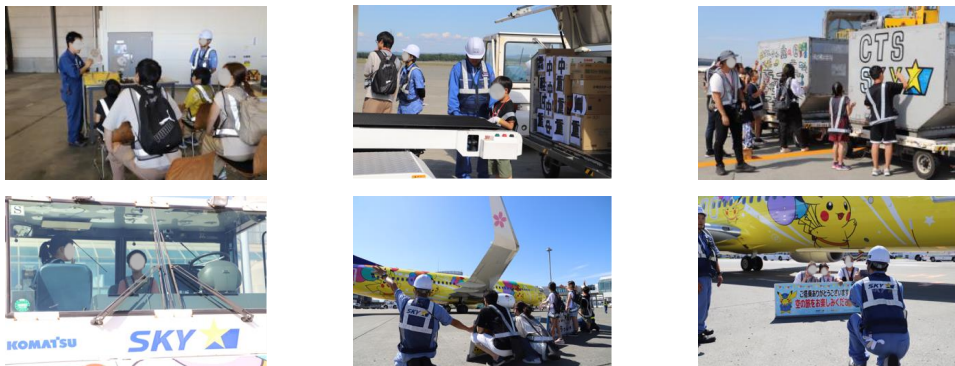


【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グランドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	71	5	5	5	33	11	11	44
中学生								
高校生								

※参加者のうち、各組1枚にアンケート実施

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・上限10組に対し、91組の応募がある人気のイベント。
- ・関心度、認識度、満足度、全て高ポイント。
- ・認知度が低いグランドハンドリング業務にも興味を持ってもらうことができた。

課題	改善点
<p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生及び中学生以上としていたが、今回は、中・高生の応募がなかった。 	<p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催を分け、高校生に絞ってPRし、開催することも可能。 ・対象年齢に高校生を含む場合は、実業務の仕事見学など、具体的な業務に触れる機会を検討。

Point!



・どこまでの体験を提供するかで費用の調整が可能。

■ 体験型イベント:③折紙紙ヒコーキ教室

【概要】

- 遊びながら飛行機の仕組みを学べるイベント。
- ヒコーキ作成後、的による競技会を実施したほか、参加者に記念品をプレゼント。

【実施内容】

実施日時:9月2日・3日(11:00～、13:00～、14:30～ 1時間程度)

実施回数:各日3回

ターゲット:小学生・中学生(保護者含む)
※参加条件はなし

参加想定人数:240名(1回あたり上限40名、
事前予約・当日参加両方可)

当日参加者数:168名

実施場所:ポルトムホール



【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グランドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	13	5	5	5	0	0	0	100
中学生	4	4	4	3	0	0	100	0
高校生								

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・インプットを行う教室のみでなく、遊びながら学べるプログラムで大人から子供まで楽しめるイベント。
- ・対面でのイベントであることから、参加者との交流を通し、仕事のやりがいなど生の声を届けることができた。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機体の仕組みに関する説明に重点を置いたため、空港を支える業務に関するアプローチができなかった。 ・空港を支える業務を絡めることが困難な場合は職業観形成への効果は薄い。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備士が主となり、航空機に関する教室を開催したため、空港を支える業務に特化させていなかった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折紙紙ヒコーキを使って、離陸から着陸までのシミュレーションを実施するなど、実際の仕事との関連についてイメージを持たせる。 ・または、空港を支える業務の説明や、体験を行える航空教室、お仕事体験などとセットにすることで職業観形成に繋げる。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港を支える業務部門や職員採用部門と連携して実施。

Point!



- ・競技性を持たせることで、子供の熱中度を高めることが可能。
例: 飛距離対決、制作時間対決など。
- ・他の取組とセットにする場合は、スタンプラリーなどでの誘導や申込時点でパッケージ化することで対応。

■ 体験型イベント:④お仕事体験(フライトシミュレータ、マーシャリング体験など)

【概要】

フライトシミュレータを使用したパイロット体験、航空機の誘導を行うマーシャリング体験、プロペラ脱着を行う航空整備士体験、スカーフ巻きや機内アナウンスを行うグラウンドスタッフや客室乗務員体験、3D CADと3Dプリンターによる設計技術者体験を通して、本物さながらの仕事を経験。

【実施内容】

実施日時:9月2日・3日 10:00~15:00

(15~30分程度)

ターゲット:小学生・中学生・高校生

※参加条件はなし

参加想定人数:200名

当日参加者数:522名

実施場所:ポルトムホール



【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グラウンドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	23	4.8	4.8	5	25	25	9	41
中学生	7	4.5	4.7	4.8	0	33	0	67
高校生	2	5	5	5	0	0	0	100

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・当日参加型のため、多くの方が参加し、満足度も高かった。
- ・実際に空港を支える業務を志す学生が指導などを行うことで、参加者との交流が生まれ、理解度向上の一因となった。

課題	改善点
<p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体としては集客できた。 ・企画名が「お仕事体験」であったため、ターゲットである高校生の集客が少なかった。 ・一方、高校生に対する職業観形成は難しかったが、小・中学生に対して、職業観の形成、仕事に対するイメージを持たせることができた。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空教室実施企業と擦り合わせを行い、航空教室から参加者を流動させるような連携により、体系的な航空知識の習得が可能。 ・空港を支える業務に従事する説明員からやりがいなどの生の声を聞ける内容とする事で、将来像がイメージしやすくなる。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容はそのままに、高校生が就業を意識できる企画名にすることで、集客を図る。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを高校生に絞る場合は、より専門的な知識を教える。



- ・各事業者が持っているコンテンツで実施可能。

■ エンターテインメント型イベント: ⑤お仕事ウォークラリー

【概要】

- 新千歳空港内にチェックポイント(4カ所)を設置し、各所にグランドハンドリングを中心とした空港を支える業務を学べるポスターを掲示。
- ポスター内のキーワードを集めながら空港内を周遊し、キーワードを集めた参加者へ記念品をプレゼント。

【実施内容】

実施日時: 9月2日 10:00~16:30(1周30分程度)
 ターゲット: 小学生
 ※参加条件はなし
 参加想定人数: 300名
 当日参加者数: 80名
 実施場所: 新千歳空港内各所・センタープラザ



【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グランドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	16	5	4.9	5	44	0	0	56
中学生								
高校生	4	5	5	5	100	0	0	0

【当日掲示資料】

【分析】

良点



・航空機の到着から出発までの流れを、空港を支える業務別に紹介することで、航空への興味を持つきっかけ作りが出来た。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容のパネル掲示を行い、一定の訴求を図ることができたが、内容についての質問や補足などが不足。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元より旅行者の方が多かった。 ・イベントに30分近く時間を要するため、参加が難しい人がいた。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生以上を参加対象としたが、中・高生の利用が少なかった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントに説明員を配置して、補足説明や日常業務について説明。 ・参加者に、ラリーでの質問をおさらいできるよう、より詳しい内容を学べるパンフを配布し、理解の深化を図る。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動線が長い場合、所要時間を短くする。 ・所要時間の目安を明記することで、集客増に繋げる。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高生が参加できるように、対象者に応じて難易度を変えたメニューを検討。



・子供向け簡易版であれば少額で可能。
 ・中・高生をターゲットにして作りこんだゲームとすることも可能。

■ エンターテインメント型イベント:⑥展示イベント

【概要】

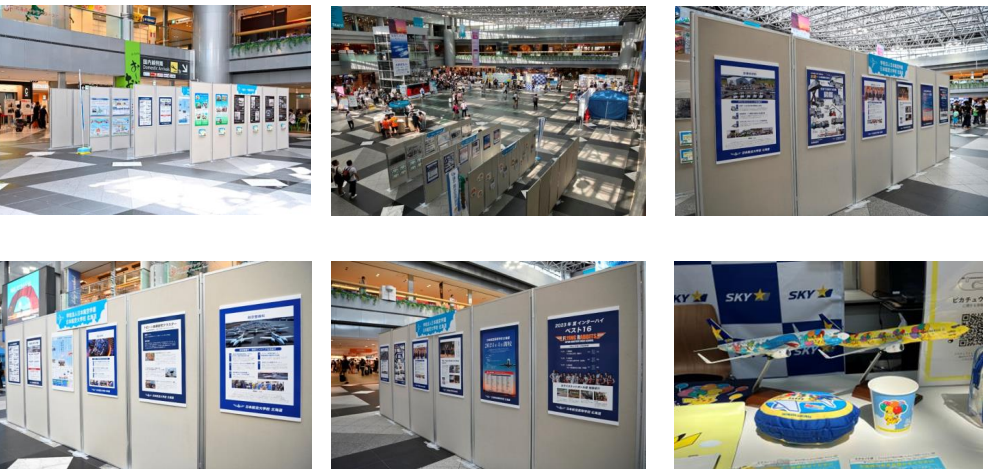
- 多くの来航者が通るセンタープラザで展示を実施。
- 空港で働くクルマの紹介のほか、日本航空大学校のコース紹介を通して、実際に航空業界に就くための具体的な道筋を提示。
- 加えて、人気キャラクター・ポケモンデザインのモデルジェットも展示。

【実施内容】

実施日時:9月2日・3日
 閲覧者数:2,160名(推定値)
 ※10:00~16:00の間、1時間毎に5分間のパネル展示を見ている方をカウントし、推定値を算出
 実施場所:センタープラザ
 ※ 想定値の算出及びアンケート対象外のため、評価点はつけない。



【当日の風景】



【分析】



- ・展示ブースでは、日本航空大学校 北海道 の各学科紹介を通じて航空業界の仕事紹介につながった。また、日本航空高校のパネル展示により、中学生に対しても具体的な普及啓発に繋げることができた。
- ・キャラクターの塗装を模した模型や、ハンガーで塗装した模様、離発機の映像を介して、多くのお子様に興味を持たせ、航空機が身近な乗り物である事をPRできた。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より理解を深めるには、質問などに対応できる説明員が必要。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルの設置のみで説明員の配置なし。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りがかりの旅行者が多く、ターゲットの若年層の取り込みが必要。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加対象は小学生以上と広く設けており、提供する情報について、ターゲットを考慮していなかった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットとなる中・高生には、説明員を当てて、就職までの進学や学科説明業務の魅力について説明するオープンキャンパスなども案内し、その場で参加を促す。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の説明員の配置を検討。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントに参加した若年層への周知により参加を促す。 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルの内容に対象区分を設けて、情報を提供。 例:見出し、大文字一小学生向け「より詳しく」一高校生向け



- ・展示パネルにクイズを組み込み、参加者の知的的好奇心に訴えることが可能。

■ エンターテインメント型イベント: ⑦ 記念撮影会

【概要】

- 普段着ることができないパイロット、客室乗務員の制服(子供用)を着て記念撮影ができる撮影会を実施。
- 時間帯によって、マスコットキャラクターが登場し、会場の盛り上げを図った。

【実施内容】

実施日時: 9月3日 ①12:00~12:10
 ②12:20~12:30
 ③12:40~12:50

ターゲット: 小学生
 ※参加条件はなし
 参加想定人数: 200名
 当日参加者数: 210名
 実施場所: センタープラザ



【アンケート結果】

事業実施結果					関心業務(%)			
ターゲット	割合(%)	関心度	認識度	満足度	グランドハンドリング	空港内	保安	機内
小学生	8	5	5	5	100	0	0	0
中学生								
高校生								

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・キャラクターの人気もあり、集客力が高い。
- ・制服を着用する方も多く、日常ではできない体験のニーズがある。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務説明などの職業観の形成を図る時間がなかった。 ・子供用の制服が少なかつたため、子供へのPRが難しい状況だった。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港を支える業務に従事する説明員を配置したが、混雑に伴うお客様の行列整理など想定外の業務に従事してしまった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影グッズなどを制作し、そこに業務情報を載せるなど、集客+@の効果を付与。 ・撮影会前に、業務説明のトークを行うなど、空港を支える業務の理解を深める。 ・子供用の制服を用意し、仕事への興味を持たせる。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1社での対応は難しくなるが、グランドハンドリング事業者と連携し、プログラムに業務説明を盛りこむ。

Point!



- ・コピーライトのあるキャラクターだと集客力は高い傾向にあるが、厳しい制約が入る。
- ・会場と近い場所にキャラクターの休憩スペースが必要。
- ・マスコットキャラクターの有無により費用が変動。

■ エンターテインメント型イベント:⑧その他(グッズ販売・ステージイベントなど)

【概要】

- 普段購入することができない機内限定商品や航空グッズの販売を行い、興味喚起を図った。
- ステージイベントを行うことで、会場の賑やかしを行い、当日空港にいる航空旅客にもイベントを認知してもらうきっかけとした。

【実施内容】

実施日時:航空グッズ販売・スカイマークヨーヨー釣り・AIRDOペアドゥ折紙
 9月2日・3日 10:00～16:00
 ※ANAは9月2日、AIRDOは9月3日のみ実施
 ステージイベント
 9月2日 ANA演奏ステージ 11:00～11:30
 航空大学校太鼓演奏 13:15～13:45



想定人数:各日500人 計1,000人

来場者数:グッズ販売・ヨーヨー・折紙 678名
 ANA演奏ステージ 370名
 航空大学校太鼓演奏 320名 計1,368名

評価: 価: 想定値の算出及びアンケート対象外のため、評価点はつけない

【当日の風景】



【分析】

良点



- ・ イベント全体の盛り上げに繋がる。
- ・ 対面型での実施は、お客様と交流する機会となる。

課題	改善点
<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントへの参加を促す案内を行えなかった。 	<p>【職業観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットへ他のイベントへの流動を促す。 ・ターゲットへのパンフ配布、行事前後のアナウンスなどを実施。 <p>【集客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを意識したコンテンツ・商品を選定。 ・告知チラシなどがあると、より集客に繋がられた。



- ・物販では年齢、興味関心の度合いなどに応じた幅広い商品の陳列が必要。
- ・ステージイベントではリハーサルが必要。